

病院長名	河野 彰夫
所在地	〒483-8704 江南市高屋町大松原 137 番地
交通案内	名鉄犬山線 名古屋駅より江南駅まで約 17 分。 江南駅より車で 8 分／江南駅より名鉄バスで「江南厚生病院」行、約 10 分



## □ 病院の特徴

当院は愛知県尾張北部医療圏の北部地域（江南市、大口町、扶桑町、犬山市など）の中核病院であり、「病める人々の信頼にたる病院たらん」を病院使命として、地域住民の健康を守るべく、安心・安全な医療を提供している。

当院の救命救急センターでは、全科受け入れ体制で「断らない救急医療」を実践しており年間約 7,000 台の救急車を受け入れています。また、当院は地域周産期母子医療センター・救命救急センター・地域中核災害医療センター・がん診療拠点病院・地域医療支援病院の指定を受けています。

その他にも、専門分野に特化したセンター機能を有しており、多数のプロフェッショナル達による最先端の医療を提供しております。最近ではロボット支援手術が可能な「ダ・ヴィンチ」を導入するなど、地域医療を守るとともに医療の質の向上に力を入れています。

## □ 研修プログラムの特徴

### [研修プログラム名]

江南厚生病院 内科専門研修プログラム

### [研修目標]

内科専門医として、1) 高い倫理観を持ち、2) 最新の標準的医療を実践し、3) 安全な医療を心がけ、4) プロフェッショナルリズムに基づく患者中心の医療を展開できる知識・技能・態度を修得する。

### [研修期間]

3 年間（連携施設への異動を伴う 1 年の必須研修を含む）

### [研修スケジュール]

専門研修 1 年目は各診療科のローテーションを基本とするが、総合診療的・横断的な研修も同時に行う。また志望診療科にやや重点を置いたローテーションも可能とする。

特別連携施設である足助病院での研修（3 ヶ月）は、研修達成度と本人の希望により、専門研修 2 年目に選択可能とする。

カリキュラムの知識・技術・技能を早い段階で修得した専攻医には、サブスペシャリティ領域専門医取得に向けた専門研修（オーバーラップ研修）の早期開始を奨励する。



▲災害訓練風景



▲JMECC 風景

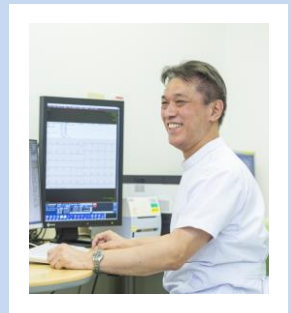
## □ 主な連携施設

豊田厚生病院、名古屋記念病院、東海病院、八千代病院、安城更生病院、トヨタ記念病院、小牧市民病院、岡崎市民病院、海南病院、一宮市立市民病院、半田市立半田病院、常滑市民病院、名古屋大学医学部附属病院、足助病院（特別連携施設）

## □ メッセージ

指導医（副院長 兼 循環器内科代表部長 高田康信）

当院は尾張北部に位置し、名古屋へのアクセスも名鉄で 20 分程度と大変交通の便もよい地域密着型の中核病院です。そのため、common disease から高度な知識や技能を必要とする疾患まで症例も豊富であり、また気軽に相談できる熱意のある指導医として各分野の専門医も数多く常勤しておりますので、専攻医の先生



方が診療や研修するにあたり、症例数や指導環境も十分に整っています。それに加えて、救急専門医も複数名常勤しているため、当地域における救急患者さんの搬送件数も多く、急性期医療も併せて研修できる体制も整っております。また当院は厚生連の病院でもあり、県内には当院以外に内科専攻医のプログラム基幹病院となっている病院が 3 つあります。現在内科専門医機構で行われている異動研修においても 3 つの厚生連病院への異動が多いため、講習会などの受講などを含め、連携をとりながら専攻医の先生方の希望に沿うようフレキシブルに研修を組み立てていくことができます。

病院全体で専攻医の先生を支えていますので、内科を志す専攻医の先生方に当院で仲間として学んで頂き、実りある研修としていきましょう。

## □ 募集要項

・採用予定人数	10 人	
・給与／月額	(3 年目)	505,696 円
・当直回数／月	(3 年目)	日・当直 4 日／月
	(4~5 年目)	日・当直 3 日／月
・当直料／回	20,000 円 + 稼働に基づき時間外（救急外来当直）	
・その他	専攻医用ワンルームマンション有り、学会参加補助あり	
・応募連絡先	担当者	教育研修課 富田
	電話番号	0587-51-3333
	Eメール	kenshu@konan.jaaikosei.or.jp